

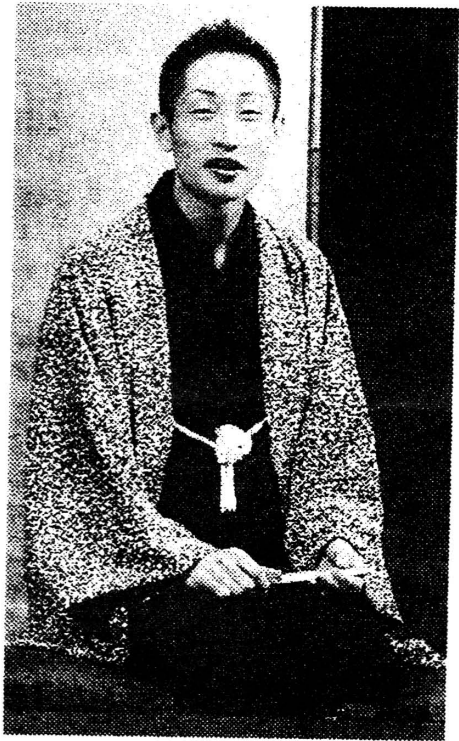
常楽寺でらこや寄席

九月二十五日(土)午後二時より

かっしゅうなつめんの

# 桂夏丸さんその人

桂夏丸さんのお父さんは、群馬県内はもとより中央でも活躍している篆刻家である(くわ)で、また、「根付け」の象牙細工製作者としても有名で、皇族方の「根付け」を製作されるなど「多忙な日々を送っています。私、住職とは、群馬県書道協会の役員



として、群馬県書道展の

運営委員として「一緒

させていたれています。

そんな縁で今回、秋の『常楽寺

寺子屋寄せ』にお呼びすることになったわけで、若

き青年落語家桂夏丸さんについて、お父さんから

いろいろお話を伺ってみました。

いま、落語家桂米丸一門で、笑点でおなじみの桂歌丸師匠や「となりの晩御飯」の米助さんとは兄弟弟子の桂幸丸師匠について精進しています。

落語は小学校六年生の春休みに初めて、上野鈴本演芸場で聞いてから興味を持ち、中学生になると、時々一人で弁当持をもって上野の寄席に出かけ、学校でも同級生を前に自作の落語を演じるなど、益々落語のとりことなり、高校生の三年間には百回ほども寄せに通い、高校二年生から、桂幸丸師匠のもとで稽古をはじめ、高校卒業と同時に正式に

入門されたそうです。

また、高校時代には、俳句にも興味を持ち、上毛新聞俳句欄にも投句して、高校二年生の時には『優秀賞』を、高校三年生では『最優秀賞』を受賞しています。現在は、「二丁目」として新宿末広亭や浅草演芸場、国立演芸場の寄席に出演、活躍しています。

県内でも、毎月『草津温泉落語会』に出演したり、神田の落語カフェで隔月に独演会を開催中とのことですので、これからの活躍が期待されています。

## おでかけくだけたい

すでにご案内したように、八月二十日(金)から八月二十二日(日)まで、「太田駅なか文化館」で『紫雲書会展』を開催します。「太田駅な

か文化館」は高架になった太田駅の下を利用して作られた展示場で、駅を利用する人にとっては大変利用し易く、明るい近代的な施設です。秋の「うすさま明王堂」での写真展と共に是非お出掛け下さい。

常楽寺の花

みほとけ

四季の花とめぐる

荒木好雪写真展

と き 平成22年9月20日(月)~10月4日(水)

「午前9時~午後5時迄」

ところ 太田市上田島町372 常楽寺境内

「うすさま明王堂」

長く栃木県の高校に勤務され、定年退職された後も、趣味として写真撮影に取り組んでこられた荒木好雪さんが、常楽寺の花と仏像に視点を向けて撮影された「写真」を、皆さんに見ていただくことになりました。

常楽寺の境内も四季折々にいろいろな花が咲き、私たちの心をいやしてくれますが、秋になると赤や白のヒガンバナが境内一面を彩り、皆さんを迎えてくれることでしょう。

是非お出かけください。 常楽寺住職 本城亮俊

